



千葉県PRマスコット
キャラクター テーパくん
千葉県許諾 第A3-15号



ちばで見も 電車&飛行機

Trains and planes seen in Chiba

第17回



- いすみ鉄道
- いすみ300形
- キハ52

いすみ350形
いすみ鉄道線(大多喜駅~小谷松駅間)



ちばで見 電車&飛行機

いすみ300形 いすみ鉄道線(東総元駅~久我原駅間)

可愛らしい黄色の車体が目印。いすみ鉄道の代表的な車両

いすみ300形

いすみ鉄道は、千葉県房総半島のいすみ市と大多喜町を走る路線です。大原駅から上総中野駅までの全14駅、全長26.8km、所要時間は約50分ほどです。

一時は赤字が続き存続が危ぶまれていましたが、公募で採用された鳥塚亮社長(当時)が次々に実施する斬新なアイデアで全国区の知名度を誇るローカル線になりました。

いすみ300形気動車は、2012年に導入された普通列車用気動車(ディーゼル動車)で、老朽化したいすみ200形との置き換えのために導入されました。301号車、302号車の2両が活躍中です。運用はまず同年3月に臨時列車として開始され、同じ年の4月1日より定期列車としても開始されました。同時期に導入されたいすみ350形と機器面では共通の車両となっています。いすみ300形は設備が充実していて、いすみ350形は乗車可能人数が多いため、2両で運転される際は300形同士ではなく350形と連結されることもあります。

車体は軽快気動車としては標準的なもので、全長は18.5m。いすみ鉄道カラーの菜の花をイメージした黄色と濃淡グリーンに全体が塗装されています。

車内はセミクロスシートを採用し、4人掛けのボックスシートが計8セット設置されています。なつかしい昭和の雰囲気イメージして青色のモケット(鉄道車両やバスなどのシートによく使われている素材)シートに下段上昇式に開く窓、木目調の内装が特徴です。バリアフリー対応の洋式トイレも設置されています。

いすみ300形の派生車両として、キハ20 1303があります。この車両はいすみ300形の最後の1両として導入された車両ですが、いすみ350形と同様の国鉄風の外観となっています。実際には21世紀の軽快気動車ですが、国鉄風の雰囲気を出すべくキハ20 1303という番号が付けられ、キハ52と同じ国鉄一般色に塗られています。



いすみ300形 いすみ鉄道線(上総東駅~新田野駅間)

いすみ350形

いすみ350形は開業時から運用されてきたいすみ200形が老朽化したことから、その代替として2013年から導入された軽快気動車です。同時期に導入されたいすみ300形がクロスシート・トイレ付であるのに対し、ロングシート・トイレなしの車両です。そのため、2両編成で運転される際は350形同士ではなくトイレが設置された300形と連結されることがあります。

車内はバリアフリー対応。車椅子スペースとスロープ、イベント列車としての使用に備え座席前に簡易テーブルを固定できる設備と簡易手洗い器が設置されています。

全長18.5mの両運転台車両で、車体は新潟トランス製の軽快気動車をベースとしていますが、外観は「国鉄顔」と言われるキハ52風。先頭のデザインだけでなく灯具・行き先表示器の配置や側窓の形状まで、鉄道ファンや観光客を惹きつける見栄えの良い車両を目指し、かつてキハ52を製造した新潟トランスに対し度重なる交渉を行って改造を行い、いすみ鉄道風に変更されています。



いすみ350形
いすみ鉄道線(久我原駅~総元駅間)



キハ52 いすみ鉄道線(総元駅～西畑駅間)

廃車の危機を乗り越え、今も活躍する全国で唯一のキハ52

キハ52

キハ52はもともと西日本旅客鉄道(JR西日本)富山地域鉄道部富山運転センター車両管理室に所属し、大糸線非電化区間で運用されていた車両です。1965年に製造されたもので2010年にJRの路線からは引退。その後いすみ鉄道に譲り受けられ、2011年から「観光急行列車」として営業運転を開始しました。当時は急行列車として土曜・日曜・祝日に運行されていましたが、2023年3月のダイヤ改正でキハ28の引退により、キハ52がいすみ鉄道唯一の国鉄型となることから、運行が土曜日のみに変更されました。

キハ52の特長は、急勾配のローカル線用にエンジンを2基搭載し、短編成で運用しやすい両運転台車であること。この特長を生かし、各地の山岳路線でも活躍しました。国鉄がJRになったあとも、JR西日本管内の越美北線(福井県)や大糸線(新潟県)などで長年使用されてきました。

このキハ52の稼働車両が活躍するのは全国でもいすみ鉄道のみ。しかし実は、この貴重なキハ52に、廃車になってしまう大きな危機が訪れたことがあります。老朽化による国鉄気動車標準色への再塗装に必要な費用が、いすみ鉄道の経営状況ではねん出が難しく、2020年春の検査期限を前に、廃車になってしまう可能性がありました。

そこで挑戦したのがクラウドファンディングです。クラウドファンディングとは、その趣旨に賛同する方から広く資金を集めるシステム。この日本でただ1台の残された貴重なキハ52を残したいと考える全国の方々から資金を集めようと考えました。

このクラウドファンディングは大成功。開始からわずか7日で目標金額を達成。無事に再塗装(クリーム色とオレンジ色の国鉄気動車標準色に塗装)が行われました。

今、いすみ鉄道で活躍するこのキハ52は、そんな全国の方々の貴重な支援によって走り続けている車両です。



キハ52 いすみ鉄道線(総元駅～西畑駅間)

■ 撮影ポイント

● 東総元駅～久我原駅間

国道465号線とともに大きくカーブしながら勾配になっている築堤の線路両側に桜の樹が植えられていて、花が咲くと桜のトンネルのようになる。



いすみ300形

● 久我原駅～総元駅間

川沿いの道の退避スペースから第七夷隅川橋梁を渡る列車のサイドビューが撮影できる。



いすみ350形

● 大多喜駅

いすみ鉄道の車両基地を大手門付近の道路から見渡せる。左がキハ20 1303。右のキハ52と並んでも製造50年の差を感じにくい。



キハ20

キハ52

マニア必見! いすみ鉄道大多喜駅にある鉄道ファンの聖地



約1kmにおよぶNゲージのジオラマ



精巧な鉄道模型を間近で見ることができる



約1,000点の展示物はすべて館長のコレクション

房総中央鉄道館は民間で運営されている鉄道の博物館。いすみ鉄道の支援のため開館しました。

人気のローカル線、いすみ鉄道の大多喜駅からわずか2分ほど。県内最大級と言われる鉄道館ですがその外観は昔ながらの木造の大きな商店のような佇まい。ちょっと見ただけではそこに鉄道館があるとは気づかないほど。

昔懐かしい遮断機が展示された入口を通り、いざ入館! 最大の見どころは約1kmもの模型の線路が敷かれているNゲージのジオラマです。

養老渓谷から都市までの風景が細部にまでこだわって再現されていて、間近で精巧な鉄道模型が走っている姿を見ることができます。それを見ているだけで、ジオラマの風景の中に入っていくようなワクワクした気持ちになります。このジオラマは千葉県最大級の大きさを誇っていて、一度に11本の列車が走行し、実物と同じ16両編成の新幹線が目の前を疾走する姿は迫力満点です。

館内にはもう一つ、先ほどのNゲージよりも少し大きなHOゲージのジオラマがあります。このサイズは各地の鉄道博物館のジオラマでよく使用される縮尺の鉄道模型で、ここでは主に往年の名列車やアメリカの貨物列車が走り、懐かしくも新鮮な雰囲気を楽しむことができ

ます。E5系新幹線「はやぶさ」も走行し、警笛を鳴らしながら通過する車両が運転されることもあります。少しサイズが大きくなった分、鉄道車両がより細部まで再現されていて、その姿を間近に見るだけでも感激です。

館内には昭和初期から運行した鉄道の関連グッズなど、鉄道ファン垂涎の品約1,000点が展示されています。また、国鉄木原線や外房線などの駅名標など、大人世代にとっては懐かしい貴重なものばかり。

実はここにある展示物、すべてが館長自らのコレクションというから驚き。その偉業から鉄道ファンの聖地と言われている場所でもあります。一つ一つ見ていくと、あっという間に時間が過ぎていく、鉄道ファンにとってまさにお宝満載の夢の場所です。

- 開館時間/10:00~15:30(入館15:00まで)
- 開館日/当面の間は日曜日のみ開館となります
- 入館料/大人 200円 小・中学生 100円
- ※房総半島横断乗車券、いすみ鉄道1日フリー乗車券をお持ちの方は半額

●問い合わせ/房総中央鉄道館
夷隅郡大多喜町久保102 TEL.0470-82-5521(開館時間のみ)
<https://bosochuotetsudokan.jimdofree.com/>

Recommended Gourmet ★おすすめグルメ

極上の豚肉が楽しめる加工工場併設のレストラン

香取市にある「恋する豚研究所」は豚肉料理を提供するレストランで県内外から多くの人々が訪れる超人気スポット。

大人気のメニューは、豚の甘味が口にひろがるしゃぶしゃぶ定食とロース肉をシンプルに塩コショウで素焼きした塩コショウ焼き定食。ほかにもソーセージやベーコンなど豚好きだったら何度も通いたくなるメニューが用意されています。

併設されている直売場では、恋する豚のお肉やハムが購入できるほか、干葉のおいしいものなども販売されています。



脂が特長の「バラ肉」は、甘味が口にひろがります



シンプルに塩コショウでの素焼きもおすすめです



恋する豚のしゃぶしゃぶ定食 ¥1,903円(税込)



外観まで研究所風の「恋する豚研究所」

恋する豚研究所

香取市沢2459-1 TEL.0478-70-5115
<https://www.koisurubuta.com/>

- 営業時間/月~土 11:00~18:00(食事はラストオーダー14:30)
日・祝 10:30~18:00(食事はラストオーダー14:30)
- 定休日/無休(年末年始を除く)

「ちばで見る電車&飛行機」今月の誌上クイズ

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「ちばで見る電車&飛行機」の第17回をご覧ください。



今回誌面で登場したいいすみ鉄道。その路線の全長は何kmでしょうか?
次の3つの中から正解を1つ選んでください。

- ① 全長2.68km
- ② 全長26.8km
- ③ 全長268km

取材協力・撮影協力・写真提供/房総中央鉄道館、恋する豚研究所

確かな「きずな」を、未来へ。



京葉銀行

ホームページでもご覧いただけます。

京葉銀行 情報誌

検索

LINEからも「ちばで見る電車&飛行機」を配信しています。

LINE 公式アカウント



正解は→② 全長26.8km

2023.5
(次回発行/2023年6月20日)